



宿泊施設 兼 DX事業拠点 元湯陣屋

- 本社所在地：神奈川県秦野市
- 事業概要：宿泊業、飲食業、旅行業、旅館・ホテルシステムの開発・販売、経営コンサルティング事業
- 常時使用する従業員：71名（グループ全体・2025年5月時点）
- 現在の売上高：11億円（グループ全体・2024年12月期）
- 法人番号：2021001022574
- Web：https://corp.jinya-connect.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役 女将
宮崎 知子

旅館・ホテルを「憧れの職業」に

観光需要が急速に増加する一方、多くの地方旅館では、合理化への取り組みの遅れなどの要因から困難な経営状況に直面しており、その施設数は年々減少しています。元湯陣屋も、一時は償却前利益で年間マイナス6,000万円の大赤字という存続の危機に直面していましたが、旅館・ホテルシステム「陣屋コネクト」を自社開発することで、サービス品質・生産性を向上させ、経営を数年で立て直しました。このノウハウを広げ、宿泊業をCS・ES・Profitの高い「憧れの職業」にしたいと心から願っております。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2040年の売上高達成に向け、年率16%程度の成長を目指します。

課題

- ・質の高い源泉を持つ宿泊施設の案件発掘
- ・機能の拡充や他サービスとの連携に向けたシステム開発力の強化
- ・地域一体での観光DXの推進強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・M&Aなどで後継者不足の課題を抱える全国の旅館の事業承継を拡大
- ・旅館・ホテルシステムの開発の強化と営業・サポートの人員を全国に配置し、体制を拡充
- ・地域一体での顧客情報を共有・活用する観光DXの取り組みを拡大

実施体制

- ・社長直轄でのM&A専門部署の立ち上げと案件発掘のための人材を新規に採用
- ・開発部門の社内人材を拡充
- ・全国各地に配置する営業・サポートの人員を拡大

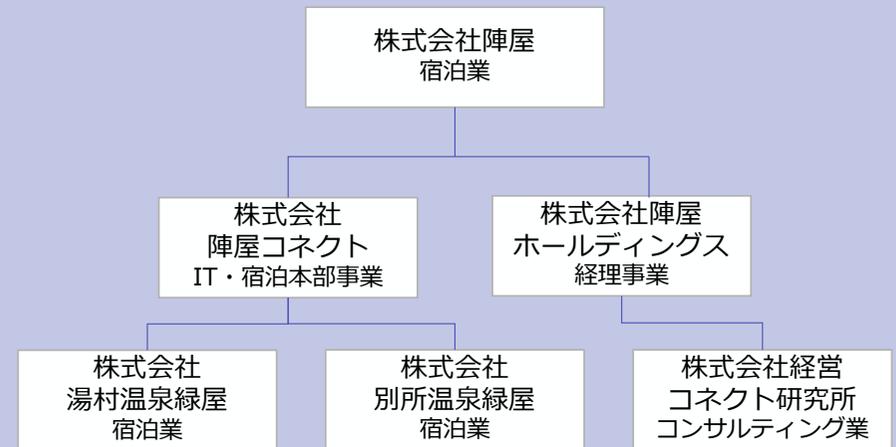
※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標とグループ体制

陣屋グループの事業は、鶴巻温泉の元湯陣屋という宿泊業だけに留まりません。旅館・ホテルシステム「陣屋コネク」の開発・販売・導入支援をはじめ、新たな地域共通のDXシステム「里山コネク」事業や、世界的なデザイナーと陣屋グループが連携して創り上げる「緑屋プロジェクト」、コンサルティング領域への拡大など、日本全国の旅館のデジタル変革の推進による経営改革と地方創生に貢献する事業を幅広く展開しています。

これらの取り組みは、地方旅館再生の先進モデルとして高く評価されており、政府要人の視察やメディア・他業種からの取材が相次ぐなど、業界内外から大きな注目を集めています。

旅館運営、DX、コンサルティングの3つの領域を日本全国で並行して推進することで、高いシナジー効果を発揮しながら、それぞれの事業の成長を加速していきます。



○法人番号：2021001022574（株式会社陣屋）、9021001047920（株式会社陣屋コネク）、1140001128437（株式会社湯村温泉緑屋）、4100001010356（株式会社別所温泉緑屋）、8021001067085（株式会社陣屋ホールディングス）、9021001081226（株式会社経営コネク研究所）